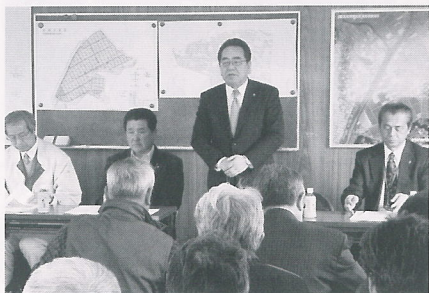


## 仙台の津波被害農家が 基盤整備地区を視察

～篠本新井・北清水地区～



2月28日、宮城県仙台市の農家のみなさんが、基盤整備事業と先進的な集落営農を進めている篠本新井地区を視察されました。

仙台東部地区は、東日本大震災で壊滅的な津波被害を受け、国や県による農地復旧が急ピッチで進められています。

当日は佐藤町長が、東北農政局、仙台市役所、仙台農協、仙台東土地改良区の職員や農地復興役員30人の前で「早く復興し、東北から日本の農業を元気にしてほしい」と応援のメッセージを贈りました。

一行は、翌日に北清水営農組合と清水の里を訪れ、地域資源を活かした6次産業についても勉強されました。

らみそづくりの基礎をご指導いただき、参加した親子は力を合わせてみそづくりに取り組んでいました。

みそづくりに使用した大豆や麴、米、豚汁の材料の野菜は篠本地区でとれたものを、豚肉は東陽食肉センター同業組合から提供していただいたものを使用しました。



3月9日、町内小学生親子を対象に、地産地消・食育推進を目的としたみそづくり体験教室が行われ、13組の親子29人が参加し、みそづくりとおにぎり・豚汁の調理体験をしました。

講師の関口洋子さんから

親子で体験  
みそづくり  
地産地消・食育推進事業



▲防火パレード



▲更新された消防車

3月3日、春季全国火災予防運動の一環として、消防団で防火パレードを実施し、火災の発生しやすい季節の到来に合わせ、火の取り扱いに用心するよう呼び掛けました。

また、同日、第1分団第1部(立会・南川岸)、第4分団第5部(遠山・姥山・長倉・取立)の2台の消防自動車を更新し配属しました。

防火パレードを実施しました  
春季全国火災予防運動

## 羽を休めに白鳥が飛来

2月に坂田池公園で、3月には栗山川の河口付近で、白鳥が飛来していることが確認できました。



## 白浜小学校4年生が老人ホームで交流

3月8日、白浜小学校4年生26人が木戸地区にある養護老人ホーム光楽園を訪問しました。

白浜小学校では定期的に交流を行っており、この日のために練習したよさこいソーランを披露したり、準備してきたけん玉やおはじき、こま回し、あやとりなどのむかし遊びをして、入所されている方々との心温まる交流となりました。

